

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

川崎高津店、藤沢店及び岐阜店における
照明安定器・管球更新による省エネ事業

排出削減事業者名：日本トイザラス株式会社

排出削減事業共同実施者名：環境経済株式会社

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	日本トイザラス株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名①	トイザラス・ベビーザラス 川崎高津店
住所①	神奈川県川崎市高津区溝口 6-11-1
事業所名②	トイザラス・ベビーザラス 藤沢店
住所②	神奈川県藤沢市辻堂新町 4-1-1 湘南モールフィル 2F
事業所名③	トイザラス・ベビーザラス 岐阜店
住所③	岐阜県岐阜市正木中 1-2-1
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	環境経済株式会社
その他関連事業者（注）	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

川崎高津店、藤沢店及び岐阜店における照明安定器・管球更新による省エネ事業

2.2 排出削減事業の目的

売場内の照明安定器・管球を機器効率の良い機器へ更新し省エネを図る。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

照明安定器・管球を FLR 仕様から Hf 仕様へ変更・更新し機器効率を改善してエネルギー消費量を削減、CO2 排出量を削減する

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	■はい
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	■はい

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

① 代表者名の変更

- ② 更新した藤沢店の照明器具（Hf管球・安定器）322台のうち141台を2015年1月23日にLED化した。よって、同設備は2016年1月24日以降は算定しない。

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2009年10月1日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ～ 2016年12月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
006	照明設備の更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
照明設備 (川崎高津店)	照明稼働時間	事業実施前電力使用量 (kWh)
		照明稼働時間 (h)
照明設備 (藤沢店)	照明稼働時間	事業実施前電力使用量 (kWh)
		照明稼働時間 (h)
照明設備 (岐阜店)	照明稼働時間	事業実施前電力使用量 (kWh)
		照明稼働時間 (h)

4.2.2 活動量の採用根拠

事業実施前及び実施後の活動量には、照明設備のエネルギー使用量に最も影響を与える活動量として照明設備稼働時間を採用する。

4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

本事業の範囲は、照明設備及び当該設備による照明が行われる範囲 (川崎高津店、藤沢店及び岐阜店の売場) である。

5 モニタリング対象指標

①川崎高津店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある 場合) 変更理由
M-1	事業実施前の電力使用量の原単位	kW	51.85 (0.17kW×305台)	カタログ値	
M-2	事業実施後の電力使用量の原単位	kW	42.70 (0.14kW×305台)	カタログ値	
M-3	事業実施後の稼働時間	h	15,081.0	計測	
M-4	電力の二酸化炭素排出係数	tCO2/kWh	(2013年度) 0.000570 (2014年度) 0.000554	移行電源による二 酸化炭素排出係数	

②藤沢店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある 場合) 変更理由
M-1-1	事業実施前の電力使用量の原単位（設 備変更なし）2013/4/1～2016/12/31	kW	30.77 (0.17kW×181台)	カタログ値	
M-1-2	事業実施前の電力使用量の原単位（設 備変更あり）2013/4/1～2015/1/23	kW	23.97 (0.17kW×141台)	カタログ値	
M-2-1	事業実施後の電力使用量の原単位（設 備変更なし）2013/4/1～2016/12/31	kW	25.34 (0.14kW×181台)	カタログ値	
M-2-2	事業実施後の電力使用量の原単位（設 備変更あり）2013/4/1～2015/1/23	kW	19.74 (0.14kW×141台)	カタログ値	
M-3-1	事業実施後の稼働時間（設備変更なし） 2013/4/1～2016/12/31	h	15054.5	計測	

M-3-2	事業実施後の稼働時間（設備変更あり） 2013/4/1～2015/1/23	h	7272.5	計測	2015/1/24以降はバウンダリー対象外とする。
M-4	電力の二酸化炭素排出係数	tCO2/kWh	(2013年度) 0.000570 (2014年度) 0.000554	移行電源による二酸化炭素排出係数	

③岐阜店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある 場合) 変更理由
M-1	事業実施前の電力使用量の原単位	kW	50.32 (0.17kW×296台)	カタログ値	
M-2	事業実施後の電力使用量の原単位	kW	41.44 (0.14kW×296台)	カタログ値	
M-3	事業実施後の稼働時間	h	15,093.5	計測	
M-4	電力の二酸化炭素排出係数	tCO2/kWh	(2013年度) 0.000570 (2014年度) 0.000554	移行電源による二酸化炭素排出係数	

7 排出削減量の計算

7.1 川崎高津店

7.1.1 事業実施後排出量

$$EM_{Pj} = EL_{Pj} \times CF^{electricity,t}$$

$$= R_{Pj} \times T_{Pj} \times CF^{electricity,t}$$

原単位		点灯時間 [h]	排出係数 [tCO ₂ /kWh]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
0.140[kWh] × 305[台]=42.70	2013 年度	4015.0	0.000570	97.7
	2014 年度	4015.0	0.000554	95
	2015 年度	4026.0	0.000554	95.2
	2016 年度	3025.0	0.000554	71.6
EMPj				359.5

7.1.2 ベースライン排出量

$$EL_{Bl} = R_{Bl} \times T_{Pj}$$

$$EM_{BL} = EL_{Bl} \times CF^{electricity} \text{ より}$$

原単位		点灯時間 [h]	排出係数 [tCO ₂ /kWh]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
0.170 [kWh] × 305[台]= 51.85	2013 年度	4015.0	0.000570	118.7
	2014 年度	4015.0	0.000554	115.3
	2015 年度	4026.0	0.000554	115.6
	2016 年度	3025.0	0.000554	86.9
EMPj				436.5

7.1.3 リークージ排出量

本事業によるリークージはなく、リークージ排出量は0である。

7.1.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EM_{BL}</i>	436.5[t-CO ₂]
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EM_{Pj}</i>	359.5[t-CO ₂]
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0 [t-CO ₂]
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下切捨て)	<i>ER</i>	76[t-CO ₂]

7.2 藤沢店

7.2.1 事業実施後排出量

$$EM_{Pj} = ELP_j \times CF^{electricity, t} = RP_j \times T_{Pj} \times CF^{electricity, t}$$

原単位 2013/4/1~2016/12/31		点灯時間 [h]	排出係数 [tCO2/kWh]	CO2 排出量 [t-CO2]
0.140[kWh] × 181[台] =25.34	2013 年度	4000.5	0.000570	57.8
	2014 年度	4009.0	0.000554	56.3
	2015 年度	4022.0	0.000554	56.5
	2016 年度	3023.0	0.000554	42.4
EMPj				213.0

原単位 2013/4/1~2015/1/23		点灯時間 [h]	排出係数 [tCO2/kWh]	CO2 排出量 [t-CO2]
0.140[kWh] × 141[台] =19.74	2013 年度	4000.5	0.000570	45.0
	2014 年度	3272.0	0.000554	35.8
EMPj				80.8

7.2.2 ベースライン排出量

$$EL_{Bl} = R_{Bl} \times T_{Pj}$$

ベースライン排出量は、 $EM_{BL} = EL_{Bl} \times CF^{electricity}$ より

原単位 2013/4/1~2016/12/31		点灯時間 [h]	排出係数 [tCO2/kWh]	CO2 排出量 [t-CO2]
0.170[kWh] × 181[台] =30.77	2013 年度	4000.5	0.000570	70.2
	2014 年度	4009.0	0.000554	68.3
	2015 年度	4022.0	0.000554	68.6
	2016 年度	3023.0	0.000554	51.5
EMPj				258.6

原単位 2013/4/1~2015/1/23		点灯時間 [h]	排出係数 [tCO2/kWh]	CO2 排出量 [t-CO2]
0.170[kWh] × 141[台] =23.97	2013 年度	4000.5	0.000570	54.7
	2014 年度	3272.0	0.000554	43.5
EMPj				98.2

7.2.3 リークージ排出量

本事業によるリークージはなく、リークージ排出量は0である。

7.2.4 温室効果ガス排出削減量

項目		記号	
ベースライン排出量	(7.2)	<i>EM_{BL}</i>	356.8 [t-CO ₂]
事業実施後排出量	(7.1)	<i>EM_{Pj}</i>	293.8[t-CO ₂]
リークージ排出量	(7.3)	<i>LE</i>	0 [t-CO ₂]
温室効果ガス排出削減量	(小数点以下切捨て)	<i>ER</i>	61[t-CO ₂]

7.3 岐阜店

7.3.1 事業実施後排出量

$$EM_{Pj} = EL_{Pj} \times CF^{electricity,t}$$

$$= R_{Pj} \times T_{Pj} \times CF^{electricity,t}$$

原単位		点灯時間 [h]	排出係数 [tCO ₂ /kWh]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
0.140[kWh] × 296[台]=41.44	2013 年度	4017	0.000570	94.9
	2014 年度	4019.5	0.000554	92.3
	2015 年度	4031	0.000554	92.5
	2016 年度	3026	0.000554	69.5
EMPj				349.2

7.3.2 ベースライン排出量

$$EL_{BL} = R_{BL} \times T_{Pj}$$

$$EM_{BL} = EL_{BL} \times CF^{electricity} \text{ より}$$

原単位		点灯時間 [h]	排出係数 [tCO ₂ /kWh]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
0.170[kWh] × 296[台]=50.32	2013 年度	4017	0.000570	115.2
	2014 年度	4019.5	0.000554	112.1
	2015 年度	4031	0.000554	112.4
	2016 年度	3026	0.000554	84.4
EMPj				424.1

7.3.3 リークージ排出量

本事業によるリークージはなく、リークージ排出量は0である。

7.3.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EM_{BL}</i>	424.1[t-CO ₂]
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EM_{Pj}</i>	349.2[t-CO ₂]
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0 [t-CO ₂]
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下切捨て)	<i>ER</i>	72[t-CO ₂]

7.1～7.3 より 3 店舗の合計は、以下のようなになる。

	BL 排出量 (tCO2)	PJ 排出量 (tCO2)	排出削減量 (tCO2)
①川崎高津店	436.5	359.5	76
②藤沢店	356.8	293.8	61
③岐阜店	424.1	349.2	72
合計	1217.3	1002.4	209

8 省エネルギー量

① 川崎高津店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン -実績 (①□ ②)
201.1	165.6	35.5

② 藤沢店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン -実績 (①□ ②)
164.0	135.1	28.9

③ 岐阜店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン -実績 (①□ ②)
195.4	160.9	34.5

省エネ量 (合計) = 35.5 + 28.9 + 34.5 = 98.9 (kℓ)

9 再生可能エネルギー利用量

該当なし